

# おっさん、相馬を体験する

作成：カガさん

## 🍏 ツアーへ参加したきっかけ

都内の出版社を自主的に早期退職してやく1年、フリーでライター・編集者をやっている僕は、感染症禍でオンラインで完結する仕事が増えたこともあって、地方への移住を考えるようになりました。亡父の故郷が青森県だったことから青森への移住についていろいろと調べてみると、地域おこし協力隊という仕事があることがわかり、どうせ移住するなら地域の振興に貢献できることがしたいと興味を持ってさらに調べていくと、弘前市の相馬地区で体験ツアーを実施していることがわかったのです。父の故郷であるむつ市には何度も行ったことはありますが、相馬は、正直言って地区名も知りませんでした。このチャンスに、ぜひ見聞を広めたいと参加を申し込みました。この年（58歳）で地域おこし協力隊員を目指すなんて無謀かもしれませんが、ツアーに参加して相馬という地域を見てみるだけでも、何か勉強になるのではないかと思ったんです。また、自治体である弘前市が全国でもまだ数少ないこういった体験ツアーを積極的に実施し、市として地域を盛り上げていこうと一所懸命取り組んでいることが伝わってきたのも、参加したいと思った理由の一つです。

## 🍏 実際に来てみた「相馬地区」

相馬というか、弘前についてまず目を奪われたのが、やはり岩木山。生で拝むのは初めてなのですが、独立峰の凛とした姿は、古来信仰の対象になっているのが納得できる悠然としたものでした。とくに相馬地区から見る岩木山は、なにか生き物のような（失礼）生命感を覚えるほどでした。



初日は午後から沢田地区の神明宮や小学校、リンゴ農園、御所温泉を見学しました。地域を回って感じたのは、リンゴ農園が多いのは当たり前ですが、地域のどこへ行っても道路が舗装されていて比較的きちんと整備されていること。

仕事柄、取材等で他県の農村などに行くこともあったのですが、道がきちんと整備されていないところも少なくありません。その点、相馬地域はかなり奥の地区まで整備されていて驚きました。ただ、夜になると道路がかなり暗くなるのは、やはり東京とはちがうところですね。

圧巻だったのは、神明宮。巨石信仰は全国的に珍しくはありませんが、あれだけ奇岩というか大きな岩戸があれば、古代の人々が何か神秘的なものを感じ、信仰の対象にしたのもうなづけます。

また、相馬支所に隣接する御所温泉も思っていたより立派で、来る方も多かったのが印象的でした。行政がこしらえた“箱”がきちんと機能している印象です。

二日目は、JA相馬村、直売所・林檎の森、市民農園の昴農園、星と森のロマンピアなどを見学。りんごの収穫も体験しました。おっさんには収穫体験はしんどいかなと思っていたのですが、それよりきつかったのが、長慶天皇陵（参考地）の見学でした。思ったより高台にあり登るのに一苦勞。翌日はふくらはぎが筋肉痛になったのは、日ごろの運動不足かそれとも単なる年のせいでしょうか。陵墓参考地にしてはずいぶん質素なお墓でしたが、眺めがよく、もっと整備すれば、ちょっとした展望スポットとしてアピールできるのではないかと思います。



## 🍏 実際に来てみた「相馬地区」 つづき

二日目を通して感じたのは、やはり地域の皆さんの「りんご」に対する思い入れの強さです。AIをはじめ先進的なシステムを積極的に導入されているJAをはじめ、農家のみなさんはもちろん、地域に暮らす皆さんが自分たちの“宝”である人一倍の誇りと愛を持っていることが会話や所作から伝わってきました。現在では「フードテック」という食に関するイノベーションも進展しつつありますから、相馬のりんごが伝統を大事にしつつも革新的な技術やあるいは発想でより多くの人に手に取ってもらえるようになればいいなと、率直にそう思います。

## 🍏 ツアーを通しての感想

今回のツアーでもう一つ印象的だったのは、協力隊OG・OBや協議会の方々などとの懇親会があったこと。もし協力隊として着任したらどのように地域の方々と接し、どのような気持ちで切らしていけばいいかなど、成功談や失敗談を忌憚なくお話いただけたので、とても参考になりました。もちろん、まだ“お客さん”である僕たちには全部が全部をありのままに、というわけにはいかないでしょうが、かなり率直なところをお聞きできたかと思えます。



あと、繰り返しますが、弘前市の担当者の方々の方々の積極的な姿勢がとても印象的でした。こういう自治体側の姿勢というか意志というのは応募者に伝わるものなので、とても大事なことだと感じました。

二泊三日の短い滞在で相馬のすべてを知ることはもちろん無理でしょうけど、それでもこうして相馬地域の環境や人々の暮らし、思いの一端に触れられたことは、協力隊として採用されるかどうかにかかわらず、とてもいい経験になったと思います。